

平成30年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中村
全体計画	平成27年度 ~			経費区分	義務的経費		内線	3644			
事務事業名	12529 施設型給付等事業										
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課										
施 策	02020900 子育て環境の充実										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100501 教育費・幼稚園費・幼稚園費									
	事業	030000 施設型給付等事業									
事業目的						事業概要・効果					
幼児期の学校教育・保育の総合的な提供						国の子ども・子育て支援新制度本格実施により、従来の幼稚園、認定こども園の教育を受ける児童について、施設型給付費として運営費を支出することが新たに求められた。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
施設型給付費 28,637,000円	施設型給付費 30,011,000円
平成29年度 実績	平成30年度 予定
幼稚園就園奨励費補助金 36,955,775円	幼稚園就園奨励費補助金 72,000,000円
平成31年度 予定	平成32年度 予定
幼稚園就園奨励費補助金 72,000,000円	幼稚園就園奨励費補助金 72,000,000円

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		36,956	72,000
特定財源	国庫支出金	11,355	22,413
	都道府県支出金	12,340	25,022
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		13,261	24,565
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	714.9	714.9
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	714.9	714.9
市民一人当たりの経費		0.7	1.4
総額		37,670.9	72,714.9

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	35,913	施設型給付費
その他	1,043	施設型給付費負担金

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	72,000	施設型給付費
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	保育と並び幼児教育の推進は必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	幼児教育の推進に大変有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	国制度のため成果を落とさずコストを削減することは不可能	

振り返り（決算年度の取組み課題）
計画どおり執行できた

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
認定こども園等に対し、施設型給付費として運営費を支出したことで運営の安定化が図られた		幼児教育の充実について不可欠な事業	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	